

平成30年度 事務事業評価表

17417  
特別会計

事務事業名	診療事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事・入院係	植川 義久

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法		
		地方公営企業法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
治療を必要とする患者		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
	事業費	9,038,854	9,164,121	9,472,299
	人件費	56,741	42,328	39,289
目 的	総事業費	9,095,595	9,206,449	9,511,588
疾病の治療を行います。	31年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		9,472,299
		一般財源		0
		合 計		9,472,299
手段、手法【実施手法：直営】	市立病院の人材・機器等の医療資源を用いて良質かつ適切な治療を行います。			

<b>3. 活動内容</b>						
活動指標1	名称	入院収益			単位	千円
	内容説明	入院患者数×診療単価				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	6,616,921	6,965,282	6,959,230	
		実 績	5,848,315	6,235,889	---	
成 果（効果・予測）	必要な医療を提供し、いざという時に備えた市民の安心確保や健康増進が図られます。					
活動指標2	名称	外来収益			単位	千円
	内容説明	外来患者数×診療単価				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	3,725,330	3,747,339	3,684,422	
		実 績	3,280,583	3,208,969	---	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定				
		実 績			---	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	地域の基幹病院として求められる医療の提供が支障なくできるよう収益を確保します。					

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	患者情報の共有化など、電子カルテの有効活用を推進し、治療内容の充実を図り、地域の基幹病院としての役割を果たしていきます。					

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	28年度	29年度	30年度	A：市が関与する必要性が高い。 地域の基幹病院としての役割を果たしていきます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	28年度	29年度	30年度	B：成果を上げる余地が一部ある。 人員の確保や、電子カルテの活用などを通じてより良い医療を提供していきます。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。 人材、医療機器などの医療資源のさらなる有効活用を目指します。
	B	B	B	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	A：受益・負担は適正である。 診療基準に基づいた適正な医療を提供しています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	28年度	29年度	30年度	A：社会的配慮を十分に行っている。 ホームページを活用した情報提供を行っています。 また、翻訳タブレットの導入など外国人に向けた対応を導入しました。
	A	A	A	

平成30年度 事務事業評価表

17418  
特別会計

事務事業名	保健衛生事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事・入院係	植川 義久

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法		
		地方公営企業法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
大和市及び近隣住民		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
	事業費	182,817	174,369	175,990
	人件費	5,895	5,189	5,189
目 的	総事業費	188,712	179,558	181,179
疾病の早期発見、予防及び健康増進を図ります。	31年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 疾病予防、保健指導等の広報活動を行います。 市民等を対象とする講演会等を開催します。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	175,990		
	一般財源	0		
	合 計	175,990		

<b>3. 活動内容</b>						
活動指標 1	名称	脳ドック受診者数			単位	人
	内容説明	脳ドックの受診者数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	80	60	60	
		実 績	60	50	---	
成 果（効果・予測）	市民の健康増進、疾病予防、保健衛生活動の増進が図られます。					
活動指標 2	名称	各種健康診査業務			単位	人
	内容説明	乳がん・子宮がん・小児等各種健診の受診者数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	9,000	8,400	8,000	
		実 績	8,361	7,620	---	
活動指標 3	名称	各種予防接種業務			単位	人
	内容説明	各種予防接種の接種者数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	700	1,000	700	
		実 績	1,001	606	---	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	脳ドック等の保健衛生事業と、地域の基幹病院・二次医療機関としての診療のあり方の検討が必要です。					

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	二次医療機関として良質かつ適正な医療を提供していくため、予防医療分野である保健衛生事業については、引き続き、その実施の妥当性などを検討していきます。 【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					